

寄せていただいたご意見



各学校での特別支援教育の取組の資料や、講話の動画をご覧になっての感想やご意見を寄せていただきました。

いただいたご意見を参考に、各校における特別支援教育の取組がさらに充実するよう、努めてまいります。

ご意見を寄せていただいた皆様、ありがとうございます。

地域の皆様から

- 各学校の資料や動画を視聴し、大変難しい問題であると感じました。各校とも個々の違いに応じた指導・支援が行われていると改めて思いました。具体的な取組が和良比小の資料の「わかる授業づくり」の中で拳がっており、大いに期待したいです。これからも、教職員や保護者ともにコミュニケーションをとり、情報を共有して必要な教材や指導方針等、現場の声を聴きながら取り組んでください。
- 学校内での横のつながりや、学年を越えた他の学校との交流や地域との交流も重要だと思いました（新潟県南魚沼市の例）。
- 学校支援会議等で更に協力を求める活動を継続して発信していくことが大事だと思いました。
- 初等、中等教育においては、何より学ぶことの意味を知ることが重要です。その点に関しては、障害の有無は関わりがないのではないのでしょうか。学力偏重が取り沙汰されて久しいですが、教育現場の「ゆとり」は、社会全体の「ゆとり」が障害者を巡る問題解決の一助になるのではないかと思います。
- 自治会長を一年弱務めました。地域活動に積極的に参加を表明できる若い世代が少なくなってきたことを改めて実感しました。時代に追われる生活と将来への不安。それらは、個々人の問題というより社会全体で考え直さなければならない問題であると、障害者教育の問題を考えながら、日本社会の一員として深く反省いたすところでありました。
- 特別支援学級が小中学校の学習体系の中に組み込まれていることはよいことだと思います。昔とは違う感じでした。そういう意味では、『特別』という表現をはずして、『支援学級』でもよいのではないかと思います。
- 共生社会の実現に向けての学校・家庭・地域の連携（特別支援教育）について特別支援学級や特別支援学校について、障害を持つ個々の児童にあった教育ができることや専門教員の確保などの課題があることも理解できました。今後、多くの父兄や地域の関係者に情報の理解をいただき、地域で社会を支えていく（協働参加）という視点で学校の仕

事を分担できないか勉強していく必要があると思います。

- 最近、メディア等でも「発達障害」のことをよく耳にします。数年前夏休みの課題図書（中学校）の1冊に発達障害の1つであるADHDの主人公が家族、先生、友人に見守られながら困難を乗り越えていくという内容でした。今や10人に一人はいるといわれている身近な問題として実情を理解し、少しでも早く取り組んでいく必要があると思いました。
- 講話の中に出てきた「みんなの学校」の映画を見たことがある。先生方や回りの児童が支援を要する児童に寄り添う姿が心に残っている。
- 松浦先生がおっしゃるように全ての子どもが地域の学校で特性に応じた教育を受けることが理想である。
- 支援級の先生方への感謝の声が聞こえてくる。通常学級と比べて気を付けなければならないことも多いと思うが今後もその子に寄り添った指導をお願いしたい。
- 子どもたちが学校や地域で「自分は大切にされている」と自覚できることが大切であると同時にゆきすぎた保護や干渉は良い結果をもたらさない。経験を積んだ先生方の取組に期待したい。

保護者の皆様から

- 中一ギャップの解消に向けて、中学校区で一貫した対応がとられていることを知り、よかったです。
- 学校毎の体制の中で、できる限りの支援活動を行っていることに感謝いたします。
- 特別支援の対象外の児童においても、若干の配慮が必要な場合や引き継ぎがされているのか心配になりました。
- 学校と家庭は協働・参加の時代という言葉が心に響きました。
- 動画・資料を拝見し、四街道市における特別支援教育の現状と課題について理解することができました。学校・家庭・地域の連携が大切であると実感しました。
- 家庭でも特別支援教育について、子どもたちが理解できるように話していきたいと思いました。
- 障害のある子どもを先生に任せるのではなく、地域の大人達で連携し、支えていくべきだと感じました。ユニバーサルデザインは、障害のあるなしに関わらず、全ての子どもたちにわかりやすくとい趣旨の内容に好感が持てました。
- 大人の方が、障害のあるお子さんに対しての偏見が強いのではないかと思います。入学説明会等で保護者が集まる場所でコーディネーターの方に講義をしていただけるとありがたいと思います。
- 特別支援教育は一人一人に専門的な教育が受けられることや、できるだけ早く特別支援教育を受けさせることの重要性等を理解することができました。
- 学校HPの資料や動画を拝見し、四街道中学校区で子ども一人一人のニーズに応じて取り組んでいることがわかりました。動画配信の内容も動画を交えながらわかりやすい解説で、特別支援教育の現状を理解することができました。普段、接点のない保護者から

見れば、自分の子どものことで精一杯である中、理解を求めることは難しいようにも感じました。

- 動画の解説でもありましたが、特別支援教育の児童・生徒に対する教職員側に関しても理解が足りず手に負えない、悪い子というレッテルを貼り適切な教育が行われていない学校もあると考えられるので、より深く理解していただけるよう定期的に研修等の機会を設けていただきたいと思います。
- 特別支援学級を巡る種々の課題を知り、深く考えさせられました。印象的だったことは、軽度の知的障害者への配慮の不足によって犯さなくてよい罪を犯してしまう不幸な人々が存在するということです。
- 特別支援学校・学級の違いがわかり参考になりました。私には、小学校の娘がいます。幼稚園の頃から障害を持っている子と接することが多く、昔に比べて障害者への理解は深まるのではと思います。生徒一人ひとりに、向き合うことは大変かと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
- 松浦先生のお話は、分かりやすく、初めて知ることも多くあり、ためになりました。各校の取組についても知ることができよかったです。今後もこのような機会がありましたら参加してみたいです。ありがとうございました。
- 一人一人が個々の状況に応じて適切な指導、教育を受けて社会の中で輝いて生活（自立）できることを期待します。
- 様々な障害のある子ども達がそれぞれの個の状にあった教育を受けて社会生活を送れるよう（自立できるよう）、社会全体で取り組む必要性を認識しました。
- 身体や心に障害のある人とそうでない人が触れ合える場や機会を、もっと増やす必要があると思った。電車や町の中で、障害のある人がいると周りの人が距離を取っているなと感じることがある。怖いという気持ちや偏見があるのだと思う。実際に触れあって障害のある人のことを理解する機会があれば皆の意識も変わると思う（子ども達より親世代が考えなければならぬ問題かもしれない）。
- 障害者施設が開催しているイベントやバザーに行ったり、ボランティアとして参加したりして、障害のある人たちと触れ合う体験をしてほしいです。少しでも障害のある人たちと触れ合う体験をしてほしいです。少しでも障害のある人たちのことを知れば、偏見はなくなり気軽に接することができるようになると思います。
- 町の中には、点字ブロックやスロープなど障害のある人のための設備やマークがたくさんあります。社会の中でどのようにして彼らをサポートしているか、興味を持ってみてほしいです。
- 苦手な人や合わない人、色々なタイプの人と一緒に生活するのも小中学生の今だからこそ。いつも決まったメンバーだけで話をするのではなく、幅広い人と仲良くして、その人のことを知ってもらいたいです。
- 何事も主体的に取り組むことは大切だが、それを行うためには準備や環境が大事だと思う。先生方だけではなく、保護者地域を巻き込み理解を深めることが大切だと思う。
- 動画の中で、主体性を持って授業に取り組むべきとおっしゃっていた件については、我が子においても当てはまることであり、改めて考えさせられた。

- 各学校の資料では、図式化されてわかりやすかったです。
- 講話の動画では、特別支援教育の現状と課題が理解できたと思います。私たち保護者は分からないからといって学校にすべてを任せるのではなく、家庭でできることを行い、学校と話し合っって子どもの未来の手助けをしていけたらいいなと思いました。

教職員から

- 特別支援教育の定義を確認し、改めて見直すべきであると思いました。「インクルーシブ教育システム」は的確な指導を提供できる様々な柔軟な仕組みを整備することから、教育的ニーズのある子に対して「多様な学びの場」を提供することが、私たちの役目である。それぞれの子にあった学びの提供や環境整備を続けていくことが大切だと思います。
- 特別支援学級にサポートでは入る時や、交流の授業で指導する際に、子どもが主体的に行動することが重要であると思う。そのために、特別支援学級の担任や交流の担任等とよく連携して、その子どもに合った支援をすることが必要である。
- 犯罪を犯してしまった人や受刑者の中の約4割が知的障害、あるいは、そのボーダーラインにしていると知って驚いた。特別支援を必要としている子を教師や保護者等が見つけていく役割があることを痛感した。
- 私たち教員が、責任をもって保護者や関係機関と連携を取りながら、特別支援教育に繋げるべき子どもを見落とさないようにしていくことが大切だと痛感した。
- 働き方改革を進めていかなければならない。学校の仕事を地域の方にも協力してもらいながら仕分けしていくことで業務の充実に繋がれると感じた。
- 発達障害や合理的配慮の説明が非常にわかりやすく勉強になりました。学校生活での関わりの中で、実践していきたいと思います。
- 特別支援学級や学校だけでなく、通常の学級でも一人一人のニーズに応じた対応をしていかなければならないと感じている。今回、動画や具体的な対応等についての説明があり、とても勉強になった。
- 「特別支援教育」は、支援を必要とする児童生徒への教育だけでなく、その周囲の児童生徒への教育や、家庭や地域への啓発も含まれます。今回のように、家庭や地域の方々と一緒に考える機会を大切にしていくことが、共生社会の実現への第1歩になるのではないかと思います。
- 松浦先生の豊富な経験と実績に裏付けられたお話がたいへん参考になった。
- 子どもたちの主体的な取組を支援する」ということが特別支援教育の根幹にあるという面から本校の取組を振り返ると、「こうあるべき」「こうしなければならない」という教師側の思いがまだまだ強く出てしまっていることを感じさせられた。
- 通常級にいる特別な支援を要する児童について何らかの形で特別な支援、配慮を行う必要があり、コーディネーターの機能を十分に生かせるように校内体制の見直しを図りたい。
- 保護者の教育的ニーズの高まりに合わせて職員の研修を行い、力量を高めることが必要である。

- 「特別支援教育」「インクルーシブ教育」といった観点ですべての子どもたちの教育、支援にあたっていきたい。
- 特別支援だけでなく、どんな授業でも目標目的に向かってどのように教えるのか、そして、生徒が主体的に取り組もうとしているのか、今の自分はできているのか考える機会になりました。
- 発達障害や学習に課題のある生徒への対応や進路指導に苦慮している。保護者・本人のニーズと実態との差について、話し合いを重ねたり、関係機関の話を聞いたりしているが、思うようにいかないことが多い。小中での指導や背景など、互いの共通理解をもっと図りよりよい指導支援につなげられるようにしていきたい。
- 近年、“合理的配慮”という言葉が使われるが、特別支援教育をするうえで何でも合理的配慮の必要性を要求する保護者がいたので、それに関する対応に困惑したことがある。学校はできることに限りがあるので、要求の高い保護者への対応はどのようにすればいいのか知りたい。
- 人員不足は大きな課題である。特に、特別支援学級においてはサポート人員が必要であると思う。
- まとめにあったような、“学校の仕事”を地域や他業種の人材も積極的に採用していくと、教員本来の仕事がもっと充実させられると思う。
- 障害のある児童、生徒たちが学びや学校生活を主体的に取り組めるよう、持てる力を高め、困難を改善、克服できるよう支援や指導を行っていけるよう接します。
- 支援が必要な生徒には様々な種類があるので、その一人一人に合ったサポートができるよう、たくさんの大人が力を合わせ、生徒の「この学びをやりたい」という気持ちを第一に考え、授業等を行うことが重要だと考えました。
- 合理的配慮の例として挙げられていた。「片付けが苦手な子」に対して、言葉で説明しても困難があるときに、片付いている見本の写真を見せると上手に片付けられるというのは、なるほどと思いました。
- すべての子どもが、地域の学校で特性に応じた教育を受けられるよう、知識を身につけ、職員間の連携をとりながら行動していきます。
- インクルーシブ教育システムでは、教育的ニーズのある生徒に対して多様で柔軟な仕組みを整備し、連続性のある「多様な学びの場」の用意が必要ということがわかりました。
- 特別支援の生徒と関わり、授業を持っている立場ですが、改めて特別支援教育とは？と問われると、具体的に答えるのが難しいと思っていましたが、実際には障害のある生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する、生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善したり、克服するための適切な指導や支援を行ったりするものということがよくわかりました。
- 特別支援学校だけでなく、通常の学校でも行わなくてはいけないこととありますが、専門性を持つ教員が不足していて、実際に障害に対応した教育が十分には行われていないという現状は改善していかなくてはいけない部分と感じました。
- 特別支援学校の課題として過密化ということがあり、児童生徒数が激増し教室不足となっていることには不安を感じました。

- 南魚沼市の特別支援学校の動画は、楽しくたくさんの人々に支えられながら特別支援教育が行われているだな、と改めて感じました。
- 発達障害や合理的配慮例からの説明も分かりやすく、理解することができました。特別支援の生徒と普段から授業で関わるが多いため動画は大変参考になりました。